

一般社団法人全国保健師教育機関協議会

委員会活動報告書

委員長名 鈴木 良美

【委員会名】 健康危機管理対策委員会(特別プロジェクト)	
【メンバー】 ◎鈴木 良美(東京医科大学)、○石田 千絵(日本赤十字看護大学)、山下留理子(徳島大学)、 井口 理(日本赤十字看護大学)、¥呉 珠響(東京医科大学)、 *奥田 博子(国立保健医療科学院) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 健康危機管理に関する教育内容を検討し、視聴覚教材を作成する。 看護基礎教育検討会報告書(厚生労働省, 2019)にも、「大規模災害や感染症等の健康危機管理能力の強化の必要性」が指摘されており、演習を通じた実践能力の強化が求められている。そこで健康危機管理の演習に役立てられるよう、教育内容を検討し、視聴覚教材を作成する。 2. 災害等(地震・津波・台風・感染症のパンデミック・その他)発生時に会員校に対し、迅速かつ適切な対応を図るため、情報収集、活動の調整と支援、情報発信等を行う。	
2021(令和3)年度	
達成目標	1. 健康危機管理に関する教育内容を検討し、視聴覚教材作成のデータを収集できる。 2. 災害等発生時に、「災害発生時の支援指針」に則り、状況に応じた対応を行うことができる。
活動報告	1. 健康危機管理の中でも特に保健師教育で重視される感染症と自然災害に焦点を当てた。 1) 教育内容の検討 感染症と自然災害の「健康危機管理に強い保健師に求められる卒業時の到達目標(以下、到達目標)」を明確にするため、教科書や現場の保健師からの声や委員の実践経験をもとに内容を検討した。このうち、感染症の到達目標の妥当性に関してアンケート調査を2月～3月に実施した。 2) 視聴覚教材の作成 感染症は、新型コロナウイルス感染症への対応を静岡県庁・保健所、新宿区、白十字訪問看護ステーションの皆様の協力を得て、自然災害は、2021年7月に発生した熱海市の土砂災害に関して、熱海市保健センター、静岡県庁・保健所、および住民の皆様様の協力を得て、撮影を行った。 2. 災害等発生時の協議会の対応の検討 本委員会発足に伴い、全国保健師教育機関協議会「災害発生時の支援指針」を改訂した。これまで災害発生時の対応は三役が中心となっていたが、今後は本委員会が中心となり情報収集や連絡調整を行うこととした。